

**ロピア、北海道での事業拡大に向けて、
存在感のある道内初の単独店舗を中の島再開発エリアにオープン
北海道産羊肉の“1 頭買い”、オリジナルの壁画・ナレーションによる
「食のテーマパーク」の演出**



「食生活♥♥(ラブラブ)ロピア」(以下、ロピア)を運営する「株式会社 OIC グループ(オイシーグループ)」(以下、OIC グループ)は、1 月 13 日、北海道札幌市に「ロピア 中の島店」をオープンします。

北海道 5 店舗目となる「ロピア 中の島店」は、道内初の単独店舗(非テナント型店舗)で、北海道科学大学高等学校の旧敷地を含む再開発エリアに出店します。同敷地内には、家具・インテリア大手の「ニトリ」もオープン予定であり、食品と住関連商品が一度にそろう、利便性の高いお買い物環境を実現します。

ロピアは、青果、精肉、鮮魚、惣菜、食品の部門ごとに存在する「チーフ」が、最小単位の経営者として自ら厳選した仕入れを行い、「ロピア 中の島店」では、北海道産の羊肉を 1 頭買いで取り扱う他、北海道産じゃがいもを使用したプライベートブランド(PB)新商品“じゃがとん餃子”を販売します。また、店内には壁画と連動した音声演出を導入し、ナレーションにはロピアの従業員が参加するなど、「食のテーマパーク」として新たなお買い物体験を演出します。

札幌市外を含む北海道内での出店については、今後、段階的にエリアを拡大していく方針です。

OIC グループは、食の生産・製造、流通、小売、外食に至る「食品総合流通業」を展開し、札幌市から日本全国、さらには世界へ事業を拡大していきます。

■中の島再開発エリアに「食のテーマパーク」オープン

北海道 5 店舗目は初の単独店舗 新たなお買い物体験の場をご提供

OIC グループは、1 月 13 日、「ロピア 中の島店」を、北海道札幌市にオープンします。今回は、北海道科学大学高等学校の旧敷地を含む再開発エリアへの出店で、道内 5 店舗目にして初の単独店舗となります。中の島は札幌市中心部へのアクセスに優れた住宅地であり、教育機関や医療施設、商業施設が点在するエリアです。また同敷地内には、家具・インテリア大手の「ニトリ」もオープン予定で、食品と住関連商品が一度にそろう、中の島エリアの新たなお買い物拠点の実現を目指します。

■ロピアはまるで商店街 青果・精肉・鮮魚・惣菜・食品の 5 部門が独立

「チーフ」が選び抜いたこだわりの食材と、OIC グループの独自商品を展開

1971 年に精肉専門店として創業したロピアは、「売り場主導 100%」を掲げ、青果、精肉、鮮魚、惣菜、食品の各部門責任者である「チーフ」に、最小単位の経営者として売り場の全権を委ねています。そのため、各「チーフ」のこだわりや思いが詰まった、店舗ごとに異なる個性的な売り場展開が特長です。「チーフ」が自ら厳選して仕入れた生鮮食品や、“ロピアでしか買えない”PB 商品などを通じて、地域のお客様に“おいしい・たのしい・うれしい”お買い物体験を提供します。

■北海道産の羊肉や、じゃがいもを使用した PB 新商品、 市場演出の鮮魚売り場など、個性を打ち出す各部門を紹介

【青果部門「八百物屋あづま」】

道内産青果物の出荷に限られる冬季は、「チーフ」が全国の産地から厳選した仕入れルートを生かし、品質にこだわった日常使いの野菜を安定して取りそろえます。「秋田県産の肉厚しいたけ」をはじめ、高糖度のトマトや白菜などを展開し、商品のおいしさや特長を伝える売り場づくりを行います。

【精肉部門「肉のロピア」】

牛・豚・鶏から羊肉まで豊富に取りそろえ、“焼肉”に特化した売り場を展開します。ロピアオリジナル国産牛ブランド「みなもと牛」に加え、地元で愛される羊肉についても“1 頭買い”を行い、その強みを生かした鮮度抜群な“塊肉(かたまりにく)”コーナーを強化し、希少性の高い「北海道産羊肉」も展開するなど、専門店ならではの目利きと調達力で、驚きの肉体験を提供します。

【鮮魚部門「日本橋魚萬」】

一尾ずつ販売する丸魚の取り扱いを強化し、全国のロピアで初となる“手まり寿司”を新たに展開します。また、商品説明を行う「親切係」を配置し、お客様との対面販売にも力を入れます。売り場は、船の先端を模した冷蔵ケースや運搬車「ターレー」を配置した市場空間を演出しており、「ターレー」の運転席はお子様が写真撮影できるフォトスポットとしてお楽しみいただけます。

【プレスリリース】

2026 年 1 月 6 日
株式会社 OIC グループ
株式会社ロピア

【惣菜部門「GOCHISOU marche(ゴチソウマルシェ)」】

平日は 1 人前、週末は 2～3 人前の大容量サイズなど、お客様の利用シーンに合わせた幅広いサイズ展開を行います。また、アメリカをイメージした内装に合わせ、ニューヨークの屋台で親しまれている“チキンオーバーライス”を販売する予定です。スイーツでは、新作の“キウイタルト”を導入し、日常の食事から特別な日の食卓まで、彩り豊かなラインアップを取りそろえます。

【食品部門「hungry?」】

OIC グループの開発・製造力を生かし、PB 商品を充実させます。「ロピア 中の島店」では、道内産のじゃがいもを使用した新商品“じゃがとん餃子”を販売します。餃子専門メーカーが製造した豚肉餡(あん)を、北海道産じゃがいもを使用した皮で包み、もちもちとした食感とジューシーな味わいが特長です。また、人気の PB 商品のパン「7/7 shu-nana(シューナナ)」の売り場を拡大する他、福島県で創業し、100 年以上の歴史を持つグループ会社「岩村製餡工場」のあんこを使用した“大福”や“串団子”、“胡麻あんまん”など、専門性の高い商品を取りそろえます。

■デザインテーマは「伝統と歴史と続く生活」

ロピア初、従業員ナレーションで壁画と連動した音声演出を導入

ロピアの店舗デザインは、OIC グループ内の店舗デザイン部が担当しています。テーマは「伝統と歴史と続く生活」です。川と発展した地域性を踏まえ、暮らしの文化を次世代へつなぐ空間を目指しました。店内は、部門ごとに戦国時代や江戸時代をイメージし、和柄を取り入れた演出としています。壁面は、「桃太郎」や「鶴の恩返し」など昔話の世界観をテーマに、PB 商品を組み合わせたデザインで、制作には北海道在住のイラストレーターの皆様に携わっていただきました。新たな取り組みとして、壁画の前では人感センサーにより、ロピアの従業員から公募したナレーションが流れる仕掛けを導入しました。社員やパート・アルバイトスタッフが参加し、音でも楽しめる売り場にしました。

■株式会社ニトリホールディングス 広報ご担当者様コメント

ニトリとロピアがオープンすることで、食を含めた豊かな暮らしをご提供し、地域のお客様に愛されるお店となるよう努めてまいります。今後も地域住民の利便性向上に向け、双方の出店候補地が一致する場合には、連携を継続していきたいと考えております。

■ロピア 中の島店 基本情報

店 舗 名：ロピア 中の島店

オープン日：2026 年 1 月 13 日

所 在 地：北海道札幌市豊平区中の島 2 条 6 丁目 2 番 70 号

営 業 時 間：10:00～20:00

交通アクセス：【電車でお越しの場合】

札幌市営地下鉄南北線「中の島駅」より徒歩約 16 分

■ロピアについて

「食生活♥♥(ラブラブ)ロピア」をモットーに、ロープライスのユートピアを作ること为目标に生まれた会社です。「同じ商品ならより安く」「同じ価格ならより良いものを」ご提供し、「楽しく感動できる愛に満ち愛される」お店を目指しています。

ロピアのミッションは、良い商品を取りそろえることにとどまらず、「価値ある商品をお求めやすい価格で」ご提供することです。その実現のため、魅力的な商品を仕入れ・製造・販売し、良いものをお客様にご納得いただける価格でお届けできるように、日々工夫を凝らし続けています。

■OIC グループについて

「おいしい」「たのしい」「うれしい」体験を世界に届ける「食品総合流通業」を目指す OIC グループは、1971 年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットへと業態を広げました。現在では、小売事業の枠を超え、生産・製造、流通、外食まで多角的に事業を拡大し、「食のテーマパーク」と位置付けて展開しています。

日本国内のみならず、アジア市場でも成長を続け、2031 年度までに売上高 2 兆円の実現を目標としています。

商 号：株式会社 OIC グループ
本 社：神奈川県川崎市幸区南幸町 2 丁目 9 番地
設 立：1971 年 4 月 28 日
代 表 者：代表取締役 高木 勇輔
売 上 高：5,213 億円(2025 年 2 月期)
事 業 内 容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸
店 舗 数：食品スーパーマーケット「ロピア」は、全国 22 の都道府県と台湾で計 145 店舗(2026 年 1 月 13 日時点。今回オープンする中の島店を含む)。
首都圏を基盤としながら大阪や京都などの関西エリア、さらに中部エリアでも展開。2023 年は九州エリア、東北エリアへ進出し、2024 年は北海道、2025 年には、新潟県、群馬県、長野県へ初出店した。2026 年の出店は、「ロピア 中の島店」が 1 号となる。